



田尻町議会だより

# たじりの風

9018

Vol.116

平成30(2018)年  
8月1日発行

■発行／大阪府田尻町議会 ■編集／議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000



## 夏季地域安全大会

### 主な内容

- ★ 一般質問 ..... 2 頁
- ★ 委員会報告・審議結果 ..... 6 頁
- ★ 第8回 全国コンパクトタウン議会サミットレポート ..... 7 頁
- ★ この人にインタビュー ..... 8 頁

# 一般質問

- 大門 久恭 議員 1. 安全・安心なまちづくりについて
- 金田 裕治 議員 1. 各種定住促進策の効果について  
2. 駅前周辺の整備について
- 坂口 実 議員 1. 市町村合併について
- 東 小夜子 議員 1. 通学路の安全について  
2. 災害対策について  
3. 電子母子手帳アプリの導入について
- 吉開 育子 議員 1. 田尻町における子どもの貧困実態調査について  
2. 「子ども食堂」の実施について
- 小川 雄司 議員 1. 介護予防支援事業のポイント制や運動施設整備について  
2. 3歳児から5歳児幼児教育・保育の無償化について
- 中川 達夫 議員 1. 災害時の支援について

※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。



大門 久恭 議員

## 問 安全安心なまちづくりに助成を

### 答 犯罪のない安全で安心できるまちづくりを進めていく

**問** 最近、あおり運転によって、事件事故に巻き込まれたという報道が増えている。事故が起こった時の証拠として有効なドライブレコーダーの設置について、助成を行ってはどうか。同様に、空き巣被害やチカン等の抑止や発生時の証拠として有効な防犯カメラを各家庭が設置する際にも、助成してはどうか。

また、平成28年9月の一般質問で、町に公園とふれ愛センター大阪側駐車場への防犯カメラの設置について質問したがその後の進捗はどうなっているのか。

**答** **都市政策課長** ドライブレコーダーの有効性は認識しているが、自動車所有者に限定されるので、公費負担の公平性に問題があり、助成の対象とは考えていない。公園とふれ愛センター大阪側駐車場への防犯カメラの設置も、町全体の防犯カメラの設置状況との整合を図りつつ検討していく。

**生活環境課長** 平成28年9月の一般質問で各家庭に防犯カメラ設置助成制度の意見を検討したが、持ち家の方が対象とした場合、公平性に欠けることと自主防犯の観点から実施は困難である。今後も、泉佐野警察や田尻町防犯協議会とともに、犯罪のない安全で安心できる街づくりを進めていく。



金田 裕治 議員

**問** 各種転入・定住施策は効果があるのか

**答** 効果検証は難しい

**問** 各種転入・定住施策を実施しているが、他の市町村と比べて効果があると言えるのか。

**答** **都市政策課長** 助成内容や条件が違うので比較は難しい。

**問** 助成のうち10万円の商品券を使用できるのが漁組だけである。使用可能店舗を増やすようなことは考えていないのか。

**答** **町長** 現在の施策は31年9月までの制度であり、継続する場合には制度の見直しも含めて検討を行う。



坂口 実 議員

**問** 市町村合併は考えているのか

**答** 協議・検討をおこなっていない

**問** 平成27年の国勢調査をもとに、本年3月30日、日本の将来推計人口が国立社会保障人口問題研究所より発表された。それによると本町は2015年8417人から、30年後の2045年には7441人12%減少すると公表された。大阪府より平成25年より特例市並みの権限移譲が進み、平成23年26年に地方自治法が改正され、地方公共団体の組織運営の自由度の拡大がはかられた。よって福祉やまちづくり関連が、熊取町、泉佐野市、泉南市との間で共同設置され、消防、水道、清掃等の広域連携が進んでいる。

本年4月、大阪府の府内市町村の課題、将来見通しの研究会の報告書では、税収減、社会保障関連経費の増加、組織面での課題が多いと認識し、合併を

**問** 学校給食場前下水道管理用通路を開放してはどうか

**答** 近隣住民と第三者を通行させない約束があるので難しい

**問** 現在、中学校正門近くにある下水道の管理用通路を開放してはどうか。

**答** **上下水道課長** 近隣住民と下水道の管理用通路としてのみ使用し、第三者を通行させないことで工事の了解を得ているので難しい。

**問** 通学時間帯だけでも開放すれば、交通量の多い駅前商店街を迂回できるので児童の安全対策になると思うが。

**答** **町長** 地区会やPTAといった団体からの声がないと、一度決めた約束を反故にはできない。

含め他市町村の連携を効果的に勧めるとしている。

本町の規模では現在剰余金があるものの、介護保険料が府下第2位の高額となるなど、将来への不透明感は否めない。市町村合併への現状認識や課題、将来の方向性を問う。

**答** **企画人権課長** 平成16年8月22日合併の是非を問う住民投票が実施され、投票資格は満18歳以上の有権者数5921人、投票者数4055人、投票率68%、賛成444票、反対3583票の反対多数の結果を、住民投票からは一定の期間経過しているというところではあるが、非常に重く受け止める必要がある。よって現状、合併に関しては具体的な協議・検討はおこなっていない。



東 小夜子 議員

### 問 通学路の安全対策強化を

**答** 学校・地域・家庭が連携して指導啓発する

**問** 痛ましい事件が続くなか、再発防止に向けた通学路の安全対策強化を考えるべきでは

**答** **教育委員会** 各種団体が一体となって自主的に防犯活動を展開している。集団下校や不審者対応を想定した集会等で児童生徒の意識向上を図っている。



### 問 災害対策は

**答** 自主防災組織中心に考える

**問** 要支援者に対する避難訓練の実施は

**答** **危機管理課長** 自主防災組織や関係者で避難所マニュアルの整備、検証を行い、それぞれの対応ができる様に準備する。

**問** 避難所での支援コミュニケーションボードの活用は。

**答** **危機管理課長** 避難所運営は自主防災組織を中心とした住民のコミュニケーションが必須になる。住民が使いやすいように考える。



吉開 育子 議員

### 問 「子ども食堂」の実施を

**答** わざわざつくらなくてもいい田尻町を目指す

**問** 平成28年9月議会の一般質問で私は「子ども食堂」の実施を求めた。町長は「行政が関わってそういうことをしなきゃならない子どもさんの数がどうなのか把握しないと具体的にはできないが、居場所づくりを当然考えてやっていかなきゃならないと思っている。ふれ愛センターの活性化と一緒に考えていけるようになればいいという思いがある。」と答えられた。

大阪府内では「子ども食堂」が昨年9月1日現在219カ所で実施されている。「子ども食堂」は親子で地域とのコミュニケーションをとる場所にもなっており、大阪府もすべての自治体での実施を推進し

ている。近隣では岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、忠岡町、熊取町で実施しており、忠岡町は今年度から「子ども食堂開設運営費補助金」交付要綱を作成し、子ども食堂への支援を行っている。田尻町でも実施を求める。

**答** **町長** 「子ども食堂」を別途必要とするような子どもさんがどれだけあるのかということ、町の中で出てくると思う。本来、そういったことをわざわざつくらなくてもいい田尻町というものが、私は目指すべき田尻町ではないのかなと感じている。





小川 雄司 議員

### 問 障がい児通所支援施設も 利用料を無償化すべきでは

**答** 基本的にカバーすべきと話している

**問** ふれ愛センターの3階で特定非営利活動法人地域福祉創造協会ウイंकが行っている障がい児通所支援事業には、5月末で20人が通っている。3歳児から5歳児は11人ときいている。療育を必要としている子どもたちも無償化すべきではないか。

**答** **町長** 正直言って、こころ園のことは認識不足だった。民生部からレクを受けてやっているが、私は基本的にはカバーしてやっていくべきではないか、と話している。もう少し時間をいただいて考えていきたい。

### 問 ふれ愛センター運動施設の 開始時期は

**答** 今年度は整備計画、来年度は  
実施計画づくり

**問** ふれ愛センター内に健康増進及び介護予防などを目的とした運動施設を整備する事業が予算化されているが、事業開始の目途はどうなっているか？

**答** **福祉課長** 今年度は住民ニーズを確かめるために調査を行ったうえで、整備計画を策定する予定。事業化の有効性を確かめた上で、来年度は実施計画づくりを行っていく。開始時期については、今後スケジュールを示していく。



中川 達夫 議員

### 問 災害弱者の避難計画を問う

**答** 避難行動要支援者プランを  
作成している

**問** 阪神大震災から20年以上が経って災害に対する認識が風化しつつある今日、災害時における高齢者の方々や障がいのあるの方々など、いわゆる災害弱者といわれる人たちの避難時に対応するための町の責務は。

**答** **福祉課長** 国の指針に基づき、避難することが困難な障がい者等の要支援者が、避難を忠実かつ的確にできるよう、避難行動支援プランを作成している。

プランに基づき、要支援者の方の同意を得たうえで名簿を作成し、官民がその情報を共有し、見守り

活動や要支援者の避難訓練等にも活用している。



# 委員会報告

## 総務建設常任委員会

委員長 仁部 順行

審査結果並びに経過報告 (6月11日開催)

### ◎田尻町消防団員等公務災害補償条例全部改正の件 (条例の全部改正) 【全会一致で可決】

**問** 今回の改正理由として、消防団員の公務災害補償において、介護を要する状態になった場合のことが挙げられているがその補償内容はどうなっているのか。

**答** 補償金額が増額される。

**問** この条例は、消防団員が介護を要する状態になった場合の補償金額を増額するということが、田尻町の消防団で介護を要する状態になった団員はいるのか。

**答** 該当者はいない。

**問** 消防団員が、有事の際、消防センター等に参集する途上での事故やけがは、公務災害となるのか。

**答** 公務災害にあたる。

### ◎平成30年度田尻町水道事業会計補正予算(第1号)の件

(752万7千円の増額) 【全会一致で可決】

**問** 今回の補正予算に「台帳システム移行管理委託料」と「電算処理委託料」が計上されているが、どのような内容なのか。

**答** 来年度の大阪広域水道企業団への統合にむけ、台帳システムや電算の改修を行う。

# 文教厚生常任委員会

委員長 大門 久恭

審査結果並びに経過報告 (6月12日開催)

### ◎介護保険条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

・介護保険法施行令の一部改正に伴い、条例で引用している条項が削除、見直しされたため、見直し後の条項へ改正するもの。

### ◎田尻町地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

**問** 主任介護支援専門員が5年ごとに更新研修を受けなければならなくなったということか。

**答** そのとおりである。

**問** 主任介護支援専門員の5年ごとの更新は、平成28年度に改正されたのではないか。なぜ、今回の条例改正なのか。

**答** ご質問のとおり、平成28年度に制度は改正されているが、5年間の猶予があるため、今回、改正を行うものである。

**問** 「第5期障害福祉計画等に係る国の基本指針の見直し」では、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」が挙げられるとともに、「児童発達支援センター」を各市町村に少なくとも1か所設置」とあるが、どのように考えているのか。早い対応が必要と思うが。

**答** 今後検討していく。

### ◎田尻町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

・平成30年3月30日に放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令が公布され、放課後児童支援員の資格要件が拡大されたこととその他所要の改正を行うもの。

## 審議結果

意見が分かれた議案名	審議結果	仁部 順行	明貝 一平	吉開 育子	小川 雄司	東 小夜子	中川 達夫	大門 久恭	小林 健治	金田 裕治	坂口 実
工事請負契約締結の件 (田尻町吉見ポンプ場の機械設備等改築更新工事委託に関する協定)	原案可決	○	議	○	○	○	○	○	○	○	×

○…賛成 ×…反対 議…議長のため賛否なし

# 第8回 全国コンパクトタウン 議会サミットレポート

日程：平成30年5月22日(火)～23日(水)

場所：田尻町総合保健福祉センター

実行委員長 田尻町議会副議長 金 田 裕 治

田尻町にて第8回全国コンパクトタウン議会サミットが開催されました。

全国コンパクトタウン議会サミットとは行政面積20平方キロメートル以下の自治体が対象で「小さくてもキラリと光り、頑張る町」が一堂に会し議員自らの手作りで開催されています。

今回は「観光で輝くまちづくり」をテーマとし関西国際空港のお膝元である田尻町に全国から16議会134名の数多くの地方議会の皆様にご参加いただきました。

現在日本一小さい町はご近所の忠岡町で、田尻町は全国で6番目に小さい町となっています。平成の大合併により、20平方キロメートル以下の町は全国で約100程度となりました。

コンパクトタウンが集まって情報交換できるこのサミットは大変有意義であり、これからも参加していきたいと思っています。



研修を終えられた各町議員のみなさんに議長よりご挨拶

2日目の朝、田尻町議会議員が研修会場である関西国際空港でお出迎えとご案内を。



関西国際空港内での研修の様子

お疲れ様でした。ひとりひとりを関西国際空港からお見送り。



## 第8回全国コンパクトタウン議会サミット 2日間のおもな研修スケジュール

- ・1日目 基調講演『観光で輝くまちづくり』（講師：元大阪観光大学教授 中尾 清 氏）  
ディスカッション
- ・2日目 関西エアポート(株)より関西国際空港についての説明  
空港島内の視察

# この人にインタビュー

ピアノ講師

かわづ なおみ 河津尚美さん (32)

Q ピアノとの出会いは？

A 4歳の頃、習い事の1つとしてピアノを始めました。

もともとピアノは好きだったのですが、分からないところがどんどん理解出来るようになるにつれ、覚醒するように好きになりました。

(笑)ただ、練習は嫌いだったので、早く上達する方法だけを毎日考えていました。

Q ピアノ講師になってよかったこと。

A 達成感を生徒と一緒に味わえることが嬉しいです。

Q 田尻町のよいところは？

A コンパクトならでの顔の見える関係です。それが繋がってくるのも田尻町のよさですね。

Q 子育てと仕事の両立は？

A なかなか難しいとは感じますが、両親や家族に助けてもらっていますので、自分の続けたい仕事が出来ています。

Q 今後の目標は？

A ピアノの楽しさや音楽の楽しさをわかってもらえるよう細く長く続けていきたいです。



■プロフィール 河津尚美 (かわづ なおみ)

第12回大阪国際ピアノコンクール ピアノ連弾アブニール賞

第6回大阪ピアノコンクールデュオ部門デュオ最高位

他、多数受賞

2014年よりピアノデュオAir (アイル) を結成し、関西を中心に活動をしている。

デュオ以外にもソロ、室内楽、伴奏などで活動を行なっている。泉大津市少年少女合唱団伴奏ピアニスト

中学校教諭1種免許 音楽取得

高等学校教諭1種免許 音楽取得

リトミック認定センター認定講師資格 (3~4歳) 取得

2008年より田尻町に教室 (金田ピアノ教室) を構え、後進の指導に当たっている

## 編集後記

新たに大門議員が広報委員副委員長となりました。

これまでと同様に皆様に読んで頂ける広報誌を目指して広報委員会として努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

議会だより広報委員長	金田 裕治
副委員長	大門 久恭
委員	東 小夜子
委員	明貝 一平
委員	吉開 育子

